

# 榊原病院 Monthly

## Vol.48 2021 April

独立行政法人国立病院機構 榊原病院  
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

### 院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ  
1991年富山医科薬科大学医学部卒  
1996年同医学部大学院卒  
2014年国立病院機構北陸病院精神科部長  
2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。  
日本司法精神医学会理事。



**病院理念** この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

「不安と希望が混在した令和2年度を越えて」

副看護部長 平野 理恵

今年も桜が満開に咲きほこり、新しい年度を迎えました。令和2年度は、榊原病院にとって不安と希望が混在した1年でした。不安を意味するのは、当院だけでなく全国、全世界で猛威を振るった「コロナウイルス」です。ダイヤモンドプリンセス号に始まり、瞬く間に国内に蔓延し、全国・各地の医療機関がコロナ陽性患者を受け入れ、対応にあたりました。当院も精神疾患の患者さんでコロナ疑いや陽性になった方々を5月～12月まで受け入れました。受け入れるにあたり、行政との連携、受け入れ調整、急変時の転院先と搬送調整、入院病棟のゾーニング(感染管理の区域分け)、看護師の配置、夜勤調整等、病院一丸となって取り組みました。

受け入れ当初は、未知のウイルスに対する不安や恐怖から本来なら耳にしないようなネガティブな言動が院内のあちらこちらで聞こえました。しかし、院長・看護部長の強い信念と熱意がスタッフの不安を緩和させ、気づけばネガティブな発言から、思いやりのある言動に変化していきました。病棟改修に伴い、コロナ陽性患者の受け入れを12月で終了させて頂くことになりましたが、8ヶ月間、貴重な経験をさせて頂きました。

そして「コロナウイルス」への不安の中で差し込んだ希望は、「病棟改修」でした。令和元年12月より始まった第1期改修工事が令和2年1月に終了し、2月初旬に病棟移転を終えました。新しい病棟では、念願のオープンカウンターを始め、各種訓練室の整備と患者さんの治療・回復プロセスに応じた治療が展開しやすい環境となりました。古くて汚い病棟から明るくて綺麗な病棟に生まれ変わり、移転した当日の患者さんの驚きと喜びの笑顔が今でも目に浮かびます。

「不安」と「希望」が混在した激動の令和2年度を越えて、令和3年度を迎えました。まだまだ、「コロナウイルス」の脅威は続いていますし、病棟改修も第2期工事(急性期病棟改修)が始まっています。令和3年度は『withコロナ』を視野に入れた病院運営が求められます。全病棟の改修が終了し、【新! 榊原病院】として始動する当院にどうぞ、ご期待下さい!

### トピックス

#### 行事・出来ごと

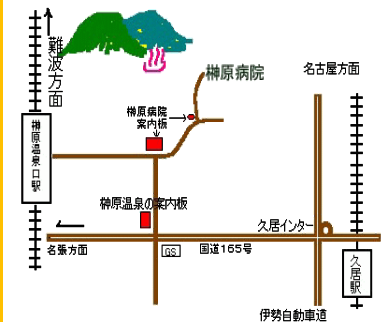
- 現在、建物の老朽化及び機能向上のため、病棟改修工事を行っております。病棟を入れ替えながらの改修となり、工事完了は令和3年9月を予定しています。
- 新型コロナウイルス対応として、入院患者様の外出、外泊、面会を制限させていただいております。情報は随時更新しておりますので、院内掲示やホームページで御確認願います。

### 診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- ・ 専門外来
- ・ こころのリスク外来

### 病床数 176床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット



電車・バス/ 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。

自動車/ 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分

自動車/ マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)

マイクロバス/



←第1期改修後の病棟をご覧いただけます。



## 地域医療連携室だより

### 〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

## ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

## 治療抵抗性精神疾患への医療

### 〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和3年3月までに全症例は111例となりました。新規導入は1月0例、2月1例、3月0例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



## 認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

### 〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

### 〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われています。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談ください。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

### 〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



## デイ・ケア案内

デイケアは新型コロナウイルス感染予防対策として、密集を避けるために利用人数を10人までとし、予約制で実施しています。手洗いと消毒、換気等の、感染予防策も引き続き徹底してまいります。また、ご利用の皆様には、自宅での検温や、感染拡大地域への移動を控えることなども、ご協力をいただいています。

4月になり、病院近隣は春まっさかりです。自然を愛でながらゆっくりと散歩したり、院内で山菜を探したりして、デイケアでは季節を楽しむことができます。室内活動はコミュニケーションを学んだり、音楽や創作等の余暇活動を行うことができます。心と体の健康のために、デイケアをご活用ください。



(左)お花見に行きました

(右)味噌ラーメンを作りました。次回はメンマも手作ります。

※ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。



## 栄養コラム



### 『夜を駆ける』で夜を駆けてみては！

令和元年度の国民栄養調査では1回30分の運動が週2回以上、1年以上継続実施している者の割合は男性33.4%、女性25.1%でした。しかし運動している方がこの割合より多くなっているのは60歳以上で、若い方の運動実施率は低くなっています。運動を継続するには楽しくなければ続きません。You Tubeで「運動 ダンス」で検索すると、いろいろなダンス動画アップされています。昼間忙しい方は、昨年ヒットしたYOASOBI「夜に駆ける」のダンス動画で、夜に駆けてみてはいかがでしょうか？大ヒットアニメ映画のテーマ曲「炎」にのせて体脂肪を燃焼させるのも楽しいかもしれません。無理なく継続出来る運動を探してみてください。

### 桜がきれいに咲いています



榊原病院の玄関前にしだれ桜があります。春になると毎年きれいに咲いて職員や来院者を楽しませてくれています。是非ご鑑賞ください。

